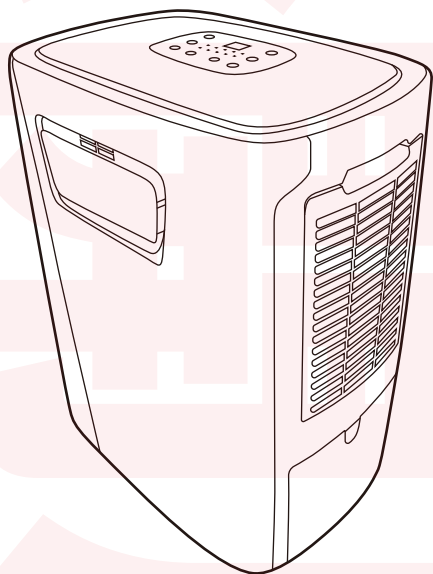


# THANKO

## 型番：CSCDCEHWH

# 取扱説明書

version1.11 shi



もくじ

安全上のご注意	2~6
使用上の注意	7
セット内容・各部名称	8~11
使用前の準備	12~16
使用方法	17~25
お手入れ方法	26,27
保管方法	28
故障かなと思ったら	28,29
仕様	30
長期使用製品安全表示	31
アフターサービス	32

このたびは、本製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。  
この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。

ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

**※重要 お読みになった後は、お手元に置いて保管してください。**

家庭用

日本国内専用  
Use only in Japan

保証期間：購入日より12ヶ月

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

表示の説明



## 警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



## 注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。



禁止（してはいけない内容）を示します。



強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。

ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、正しく使用してください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。



## 警告

### ◆電源プラグ・電源ケーブルについて



濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。

感電・やけど・けがの原因



電源ケーブルが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因



電源プラグを舐めさせない。

感電・けがの原因

電源プラグが曲がった場合は、使用しない。

感電・火災・やけどの原因



電源ケーブルを傷付けたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用しない。また、重いものを載せて使用しない。

感電・ショート・火災の原因

電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電・故障の原因

延長コードは使用しない。

タコ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因

# 安全上のご注意

必ずお守りください



## 警告

### ◆電源プラグ・電源ケーブルについて



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりは拭き取る。

火災・感電の原因

電源プラグは根本まで確実に差し込む。

感電・発火・故障の原因

電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。

火災・感電の原因

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行う。

感電・発火・故障の原因



定期的にコンセントや電源プラグの点検を行う。

コンセントにほこりが溜まっているときに湿気が加わると、電流が流れて火災の原因となることがあります。本体から電源ケーブルまたは電源プラグが外れていたり、破損している場合は特に危険です。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。

感電・漏電・火災の原因

電源プラグを抜き差しするときは、本体が動作していないことを確認する。

感電・ショート・火災・発火の原因

### ◆設置について



水のかかるところや火気の近くで使用しない。

漏電・火災の原因

子供だけで使用したり、幼児の手の届くところで使用・保管しない。

やけど・感電・けがの原因

壁や家具などの近くで使用しない。

変形・変色の原因

不安定な場所で使用しない。

転倒によるけが・故障・火災・感電の原因

粉じんの多い場所で使用しない。

感電・故障・引火や本体への吸引による発火・発煙の原因

設置スペースが狭いなど、落下の危険がある場所に設置しない。

転倒によるけが・故障・火災・感電の原因



爆発物や可燃性ガスがある場所で使用したり、引火性のある液体、燃焼性の液体など、燃焼性のあるものの近くでは使用しない。

火災の原因

直射日光の当たる場所や湯気の当たる場所、水回りや風呂場などの湿気が多い場所で使用・保管しない。

変形・変色・故障の原因

暖房器具の周辺など、熱気が当たる場所で使用しない。

故障・変形の原因

コンロ周りなど、油が本体に付着する場所で使用しない。

引火・本体への吸引による発火や発煙、樹脂の劣化やひび割れによるけがの原因



## 警告

### ◆設置について



アース接続

**アースを取り付ける。**

アースを取り付けることをおすすめします。

下記のような場所で使用する場合は、必ずアースを取り付けてください。

故障や漏電時、感電の原因になります。

- ・湿気の多い場所
- ・水気のある場所

アース工事は必ず電気工事店などに依頼してください。(工事費は本体価格に含まれません)

ベランダの手すりやガス管・水道管・避雷針・電話などのアースに取り付けしないでください。感電の原因となります。



**水気の多いところで使用する場合は、漏電遮断器を設置する。**

水気の多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。(ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。)

詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

### ◆排気ダクトについて



**排気ダクトの吹出口に顔や手を近づけない。**

低温やけどの原因

雨天時、強風時には排気ダクトを使用しない。

本体側に水、風、ゴミ、虫が入り故障の原因



**ダクトを潰さない。**

性能低下の原因

ダクトを引っ張ったり、ひっかけない。

故障・破損の原因

### ◆異常時について



**製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。**

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因

・電源ケーブルや電源プラグが膨張するなど、変形や変色、損傷している  
・電源ケーブルの一部や電源プラグがいつもより熱い  
・電源ケーブルを動かすと通電したりしなかったりする  
・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする  
・本体からいつもと違う異音が出る  
・本体が動作しない など、上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。



## 警告

### ◆本製品の取り扱いについて



取り扱い説明書に記載以外の用途に使用しない。

やけど・けが・故障の原因

本体の隙間にピンや針金など金属物や異物を入れない。

感電・故障の原因

本体の上にものを載せない。また、洗濯物などをかけない。

落下して、けがや火災の原因。また、風の流れてを塞ぐと、過熱して火災の原因

濡れた手で操作パネル、リモコンを操作しない。

感電・故障の原因

本体を揺すらない、前後左右に傾けたり、倒したりしない。

水がこぼれて感電・故障の原因

変形や破損など異常があるときは使用しない。

火災・感電・けがの原因

吸気口・吹出口・排気口を塞がない。

風通しが悪くなり、発熱・発火・故障の原因

風をヒーターなどの燃焼器具に向けて使用しない。

不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因



改造や分解をしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。

火災・感電・けがの原因

本体や付属品を落としたり、ぶつけたりしない。また、落としたり、ぶつけたりしたときは使用しない。

故障や破損、変形により、火災や感電、やけど、けがの原因

お手入れの際は有機溶剤（ベンジン、シンナー、石油等）、薬品類（漂白剤、消毒液等）、研磨剤は使用しない。

変形・変色・故障の原因

押入れや家具の隙間、机の下など狭い場所では使用しない。

発火・故障の原因

屋外では使用しない。

故障・感電の原因

コップなど水の入った容器を載せない。

感電・発火の原因

本製品を水につけたり、本体に水をかけたり、丸洗いしたりしない。

ショート・感電・火災・故障の原因

風の流れを遮るようなものを周囲に置かない。

過熱して火災の原因



本体の移動は必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててから行う。また、畳や傷のつきやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんの場合、持ち上げて移動する。

水漏れして家財などを濡らしたり、漏電によって感電・火災の原因。また、床を傷つけたり、けがの原因

ペットの近くで使用する場合、ペットが本体に尿をかけたり、電源コードをかじらないよう注意する。 火災や感電の原因



## 注意

### ◆本製品の取り扱いについて



塩素系や酸性の洗剤は使用しない。  
有毒ガスが発生し、健康を害したり樹脂の劣化やひび割れによるけがの原因

本体や付属品に過度な力を加えない。  
故障・破損の原因

他の電気機器や家財などの上に本体を置かない。  
結露の滴下による汚損・故障の原因

本体内部の金属部に触れない。  
けがの原因

乳幼児や身動きできない方(病気やけが)は単独で使用しない。  
次のような方がご使用になる場合は、周りの方が注意してください。  
・乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方、  
身体の不自由な方  
・深酒や睡眠薬を飲まれた方  
体調不良の原因

ロボット掃除機を使用する場合は本体を床に置かない  
本体の移動や電源コードの巻き込み、転倒による水漏れで家財を濡らす原因



排気口に顔や手を近づけない。  
低温やけどの原因

煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない。  
本体内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害する原因  
殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。

長時間冷風を身体に当てない。  
健康を害する原因

水タンクの水を飲料用に使用しない。  
また、動植物にも与えない。  
体調不良・悪影響を及ぼす原因

ペット用として使用しない。動植物に直接風を当てない。  
動植物に悪影響を及ぼす原因

消臭剤やエアコン洗浄などのスプレーを吹きかけたり、近くで使用しない。  
故障の原因

本体の上に乗らない、寄りかからない  
落下や転倒によるけがの原因



ヒーターなどの燃焼器具と一緒に使う場合はこまめに換気する。  
換気が不十分な場合、一酸化炭素中毒・酸素不足の原因



持ち上げて移動するときは、安全のため取り扱いに十分注意する。  
・必ず、本体の持ち手と底面を持って運ぶ。  
・本体を傾けて運ばない。  
故障の原因

本製品は、冷媒が封入されています。冷媒が排出されると地球温暖化が進みます。廃棄する場合は、冷媒の回収、運搬、廃棄の料金が必要になり、使用者ご自身の負担により、専門の回収業者(登録制)に委託し、適切に処理していただく必要があります。ご不明な点は、お住まいの地方自治体の窓口を確認をお願いいたします。

# 使用上の注意

- ・セバレートエアコン等と構造が異なります。簡易的な冷房としてお使いください。  
冷風は出ますが、エアコンとは異なり部屋全体を冷房することはできません。閉め切った部屋で運転すると、排熱により室温が上昇します。
- ・排気ダクトを使用する場合は、正しく取り付けで使用してください。
- ・電源をオフにしたときや電源プラグを抜いた後は、すぐに再運転しないでください。  
一度運転を停止した後や、ブレーカーが落ちた場合などは3分以上待った後に運転を行ってください。すぐに再運転するとコンプレッサーに負担がかかり故障の原因となります。

## 設置について

- ・テレビやラジオなどの AV 機器から 2m 以上離してください。電波障害の原因となります。
- ・直射日光が当たる場所に設置しないでください。  
本体内部の温度が上昇し、正常に動作しないおそれがあります。

## 使用について

室温 17℃～35℃の範囲でお使いください。

指定の温度範囲外で使用すると、本体の保護機能がはたらき、運転できないことがあります。使用温度範囲は湿度により変わりますので、目安としてください。

フィルター付きカバーを外した状態で使用しないでください。

本体内にほこりを吸い込み、故障の原因となります。

排気ダクトを延長しないでください。

同梱している排気ダクトに市販の排気ダクトなどを取り付け、延長して使用することはできません。性能低下や安全装置が作動し、運転が継続できなくなる可能性があります。

騒音に注意してください。

設置場所や本体自体の振動などにより、騒音が発生する場合があります。

・排気口からの風の騒音・風が近傍のものに当たったときの騒音

・不安定な場所に設置したときの振動による騒音

・コンプレッサーの振動による騒音

精密機器（パソコン）や食品、美術品の保存、動植物の飼育や栽培などには使用しないでください。保存品の品質低下の原因となります。

凍結に注意してください。

保管場所、設置場所で凍結のおそれがある場合は、水タンクの水を捨てて乾かしてから、保管・設置してください。故障の原因となります。

使用環境によっては、お手入れ期間を短くしてください。（ほこりの多い場所等）

フィルターが目詰まりしたまま使用すると冷風が出ない場合があります。

車で移動するときなど、本体を傾けたり、横倒しにしない。

コンプレッサー方式のため、故障の原因となります。

目の届くところで使用してください。

お部屋に誰もいないときは運転をしないでください。

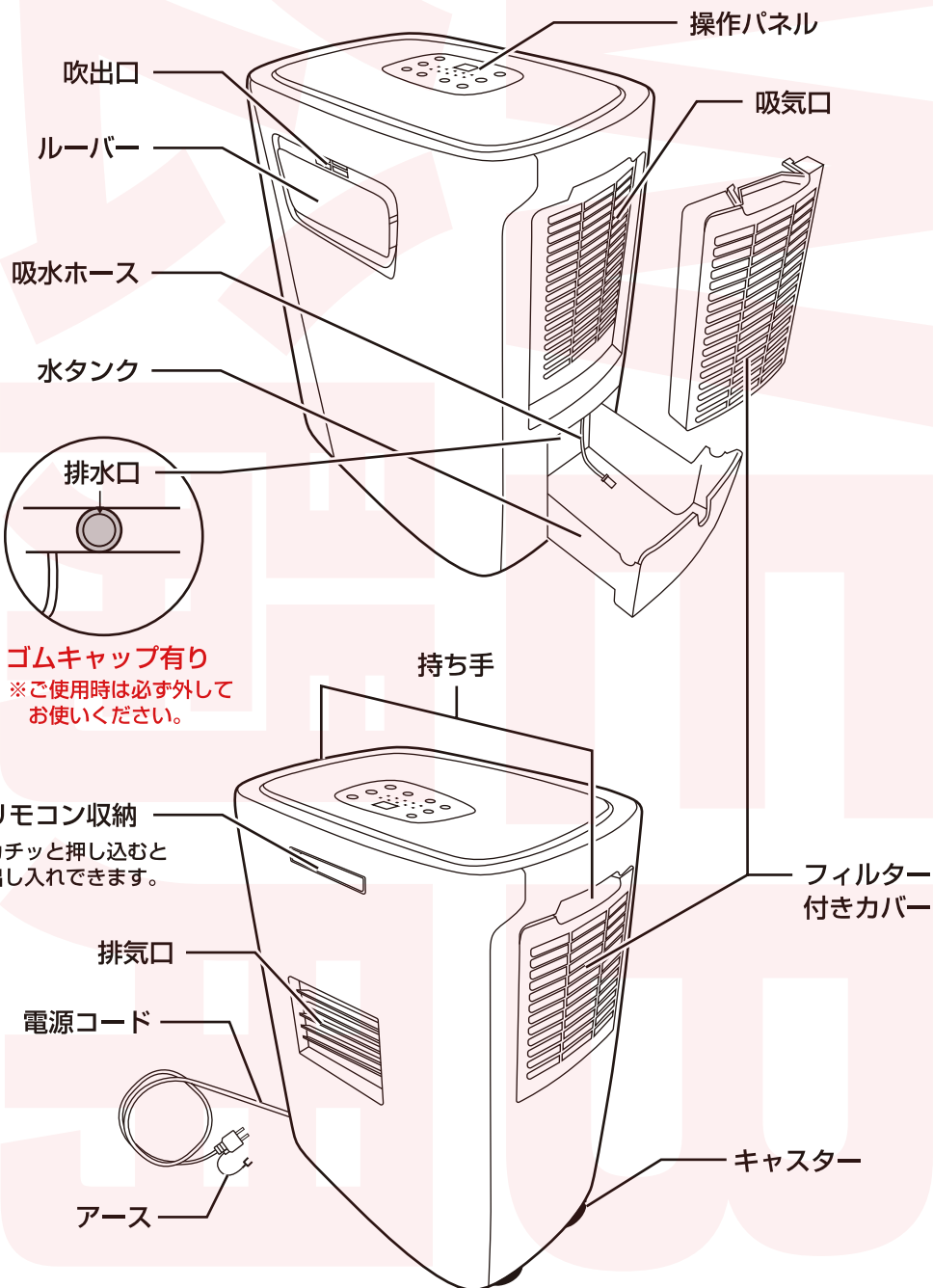
## 廃棄について

本製品は、特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用製品ではありません。

廃棄する場合は、冷媒の回収、運搬、廃棄の料金が必要になります。使用者ご自身の負担により、専門の回収業者（登録制）に委託し、適切に処理してください。

本体や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

# セット内容・各部名称



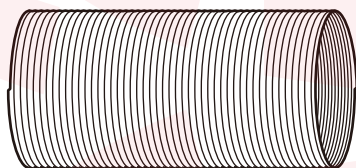


# セット内容・各部名称(つづき)

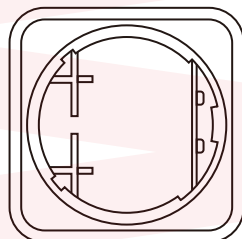
リモコン



排気ダクト

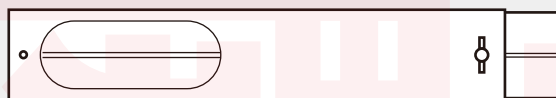


ダクトアタッチメント

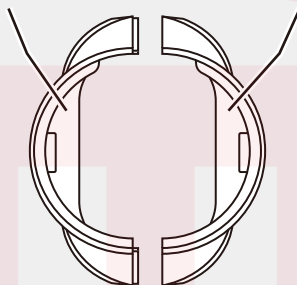


## 【外に排熱する場合に使用するパーツ】

ダクトパネル



ダクトエンドA    ダクトエンドB



本製品は本体タンクに給水することで排熱の温度を抑える機能が備わっております。排熱が気になる場合、上記パーツを使用することで外に排熱することも可能です。

# セット内容・各部名称(つづき)

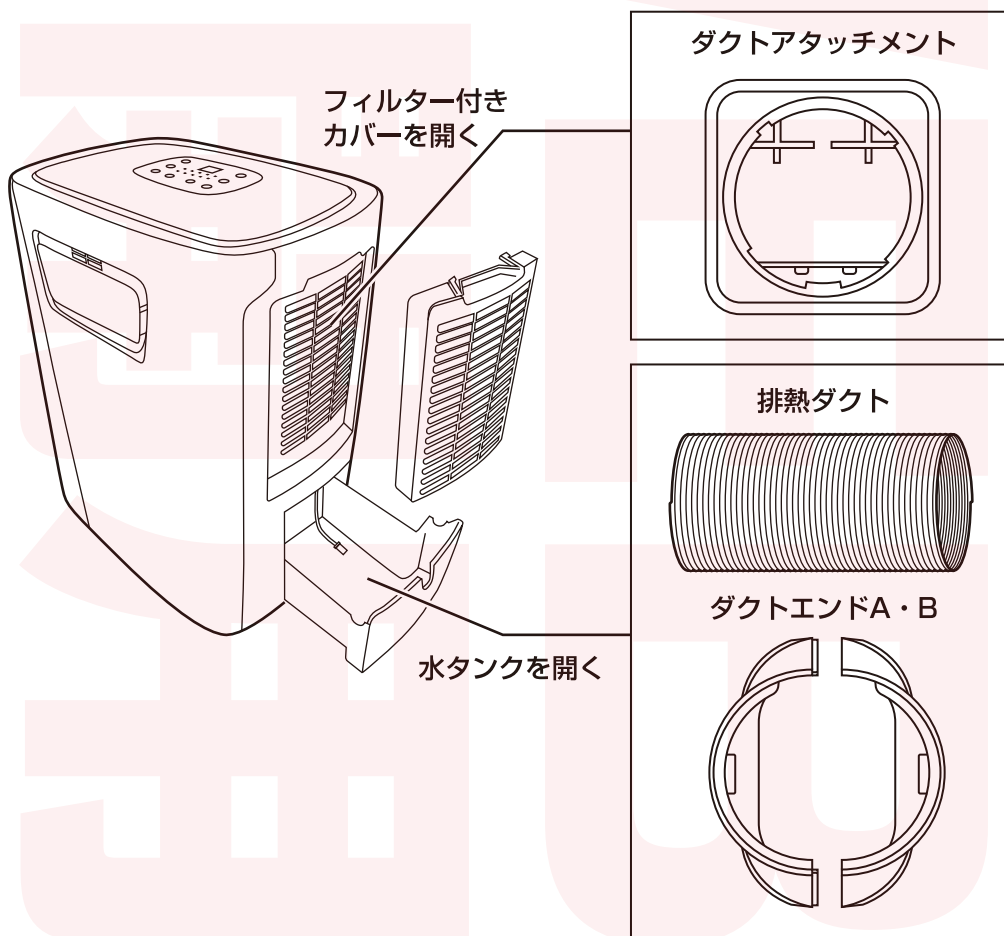
## ◆納品時のパーツについて

納品時、一部パーツは本体に格納されています。開封後、以下の箇所から取り出し、付属品が揃っているかご確認ください。

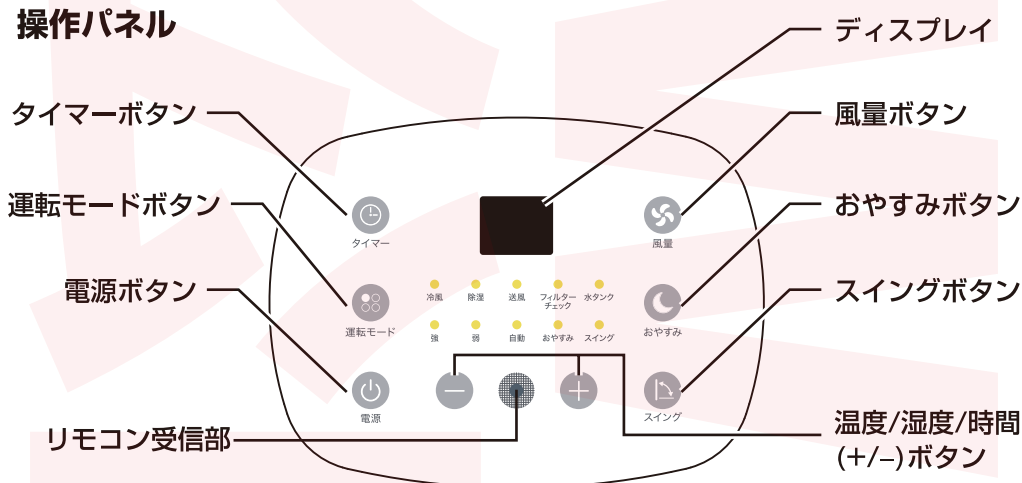
**ダクトアタッチメント**…本体正面から見て右側のフィルター付きカバーを外すとダクトアタッチメントが格納されています。

**排熱ダクト**…水タンク内に格納されています。

**ダクトエンドA・B**…排熱ダクト内に格納されています。



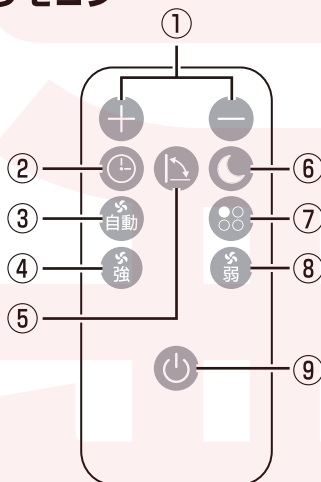
# セット内容・各部名称(つづき)



## 【水タンクランプについて】

- ◆冷風モード：水タンクに水が入っていない場合、点灯します。ダクトレス機能を使用しない場合は水を入れる必要はありません。
- ◆除湿モード：水タンクに水が満水の場合、点灯します。
- ◆それ以外：タンクが正しく取り付けられていない場合、点灯します。

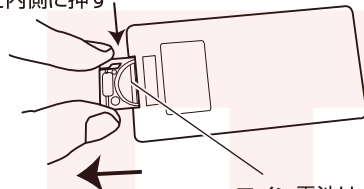
## リモコン



## コイン電池の交換について

リモコンにはあらかじめテスト用コイン形リチウム電池(CR2025)が入っております。リモコンが動かなくなったら電池を交換してください。

つまみを内側に押す



- ①温度/湿度/時間 (+/-) ボタン ②タイマーボタン  
③自動モードボタン ④強風ボタン  
⑤スイングボタン ⑥おやすみボタン  
⑦運転モードボタン ⑧弱風ボタン ⑨電源ボタン

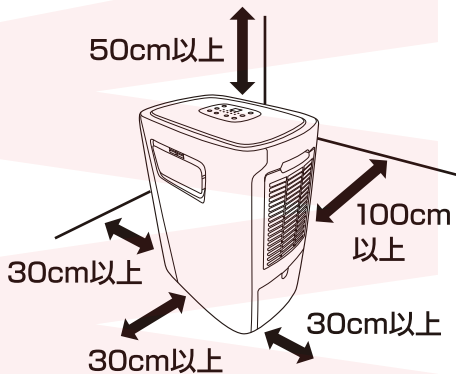
# 使用前の準備

## 1 設置する

効率よく運転するために右図を参照に十分なスペースを確保してください。

※平らで水平でしっかりとした床面に設置してください。

※落下物の危険がない場所に設置してください。

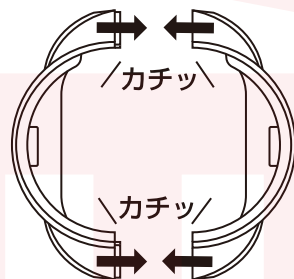


## 2 排気ダクトを使用する場合

### ①ダクトエンドを組み立てる

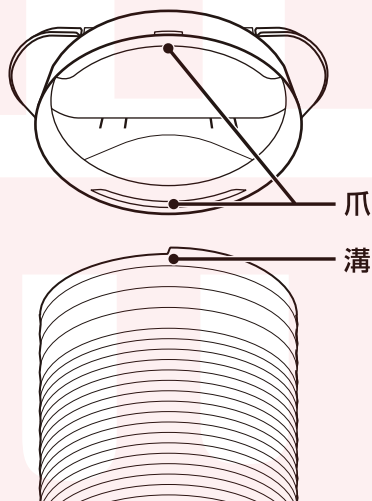
ダクトエンドのA・Bを繋ぎ合わせます。カチッと手応えがあり、繋ぎ目がしっかり閉じるまで押し合わせてください。

ダクトエンドA・B



### ②排熱ダクトにダクトエンドを取り付ける

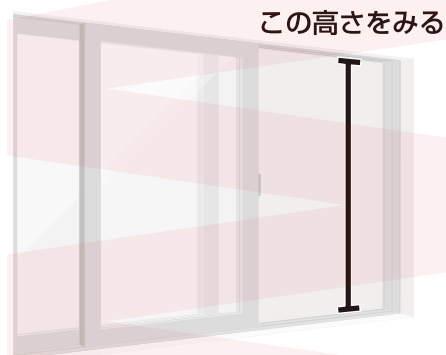
排熱ダクトの先端を少し伸ばし、排熱ダクトの溝にダクトエンドの爪がはまるように合わせ、ダクトエンドを矢印の方向に回して取り付けてください。



# 使用前の準備(つづき)

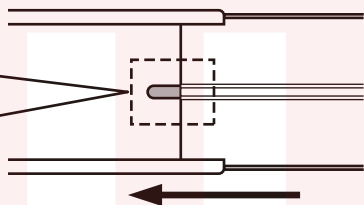
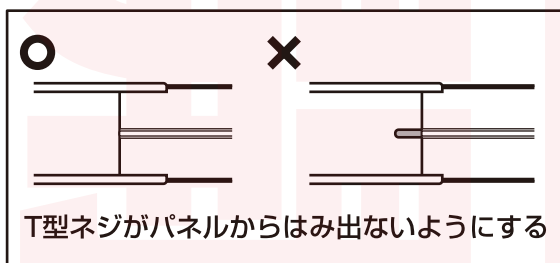
## 3 取り付ける窓の高さを確認する

ダクトパネルが取り付けられるのは、高さが72～90cmの窓です。取り付け箇所がサイズ内に収まるか確認してください。

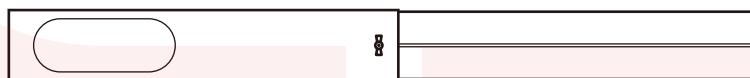


## 4 ダクトパネルを伸ばす

パネル中央の溝にT型ネジの頭の部分を合わせてスライドしてください。全長およそ91cmとなります。



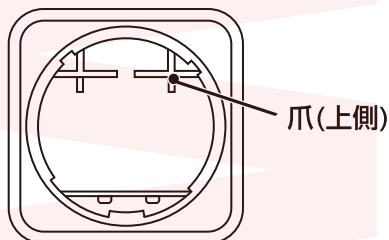
伸ばしたイメージ図



# 使用前の準備(つづき)

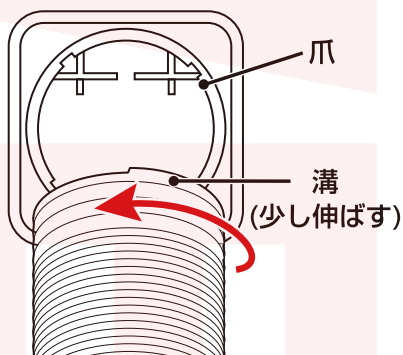
## 5 ダクトアタッチメントを本体に取り付ける

交差している爪が上側になるようにして本体裏の排気口に取り付けます。上側の爪を本体に差し込み、上から下にスライドするようにしてカチッという手応えがあるまで押し込んでください。



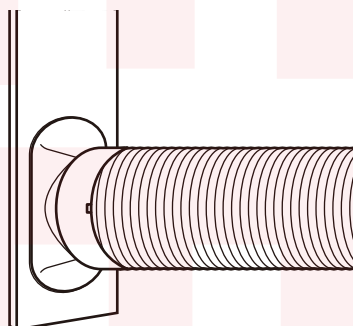
## 6 排熱ダクトをダクトアタッチメントに取り付ける

排熱ダクトの先端を少し伸ばし、排気ダクトの溝にダクトアタッチメントの爪がはまるように合わせ、ダクトエンドを矢印の方向に回して取り付けてください。(ダクトアタッチメントからはみ出さない程度)



## 7 ダクトパネルに取り付ける

ダクトエンドをダクトパネルの大きな穴に、カチッと手応えがあるまで押し込んでほめてください。



# 使用前の準備(つづき)

## 8 ダクトパネルを窓に取り付ける

ダクトパネルの表側(蝶型ナットがある方)を室内側にして、窓パネルの高さをピッタリ合わせて蝶型ナットをしっかり締め付けて固定してください。  
※パネル上下の隙間が気になる場合は隙間用スポンジ等(別売)を挟んで隙間を埋めてください。

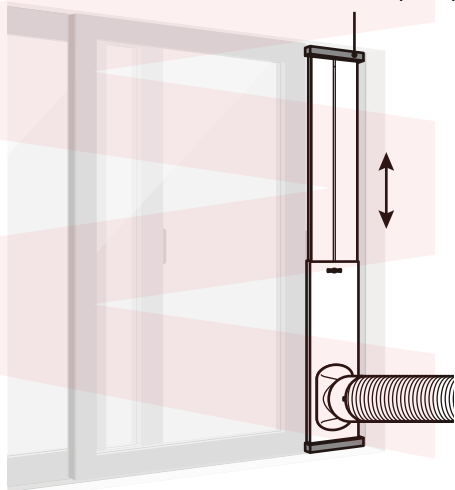


※取り付けが不十分な場合、落下によるけが、破損の原因となりますのでご注意ください。

※2階以上の窓に取り付ける場合、落下に十分注意しながら取り付けてください。

※必ず窓の戸と同じレールに取り付けてください。

隙間用スポンジ(別売)



## 9 排熱ダクトを伸ばす

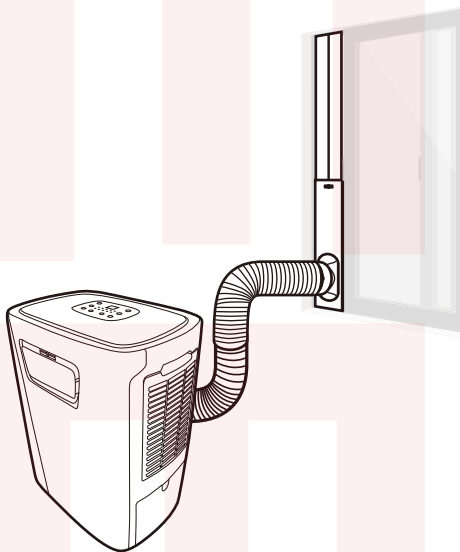
本体側の排熱ダクトの根本が抜けないように押さえながら、お好みの長さに伸ばしてご利用ください。

ダクト長さ: 17~122cm  
(ダクトエンド・アタッチメント除く)



※排気ダクトの長さを調整するときは、根本に負荷がかからないように必ず手を添えて行ってください。

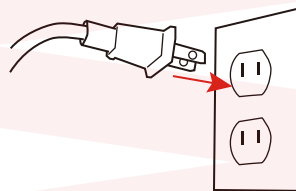
※本製品をご使用いただく場合、窓の鍵が使用できなくなります。防犯を考慮し、別途窓用の補助鍵のご購入をご検討願います。



# 使用前の準備(つづき)

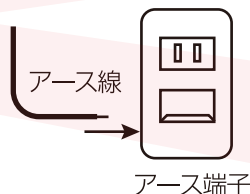
## 10 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込んでください。(アースを取り付けることをおすすめします。ただし、湿気の多い場所や水気のある場所では必ずアースを取り付けてください。)



### アースの取り付け

アースの先端を確実にアース端子に接続してください。設置抵抗値100Ω以下であることを確認してください。



### アースを取り付ける。

アースを取り付けることをおすすめします。

アース接続

下記のような場所で使用する場合は、必ずアースを取り付けてください。

故障や漏電時、感電の原因になります。

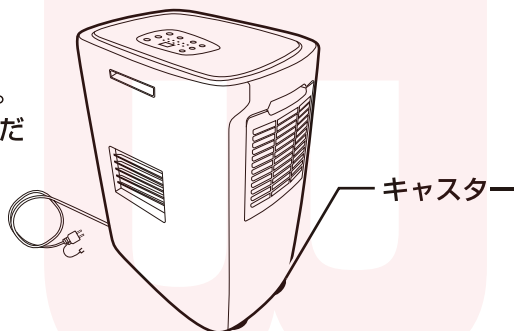
- ・湿気の多い場所
- ・水気のある場所

アース工事は必ず電気工事店などに依頼してください。(工事費は本体価格に含まれません)

ベランダの手すりやガス管・水道管・避雷針・電話などのアースに取り付けしないでください。感電の原因となります。

## 11 キャスターについて








本体にはキャスターがついています。  
お好みの場所に転がして移動してください。





# 使用方法

## ◆冷風運転

- 1** 本体の電源ボタン  を押す
  - ・電源が入り、運転が始まります。
- 2** 運転モードボタン  を押して冷風モードを選ぶ
  - ・冷風ランプが点滅：冷却準備中／点灯：冷却中
  - ・給水ランプが点灯：水なし／消灯：水あり
- 3** 温度ボタン   を押して温度を選ぶ
  - ・-/+ボタンで17～30℃の中から選んでください。  
(ディスプレイに設定温度が表示されます)
  - ・本体付近の温度が設定温度になると冷却準備中になります。  
(コンプレッサー動作停止)
- 4** 風量ボタン  を押して風量を選ぶ
  - ・ボタンを押すごとに強→自動→弱の順番で繰り返します。
  - ・自動モード：周辺温度に合わせて自動で風量を調整します。  
設定温度より周辺温度2℃高い場合「強」  
設定温度より周辺温度2℃低い場合「弱」
- 5** スイングボタン  を押してスイングさせるか選ぶ
  - ・スイングランプ点灯：する／消灯：しない
- 6** 本体の電源ボタン  を押す
  - ・運転が停止します。

# 使用方法(つづき)

## ◆ダクトレス機能を使う 冷風運転のみ

ダクトレス機能をつけることで排気口からの温度を抑えることができます。

### 水タンクに水を入れる

#### 水の入れ方

- ①水タンクを取り出す
- ②水タンクに水を入れる
  - ・満水約2.4L(測って入れてください)
  - ・吸水ホースが水の中にあることを確認する
- ③水タンクを戻す



※使用する水は常温の上水道水をご使用ください。井戸水やミネラルウォーター等は使用しないでください。故障の原因となります。

### 水タンクランプが消灯したらダクトレス機能がONになります

- ・水タンク満水は約2.4L  
(水を入れすぎるとディスプレイにE4のエラー表示が出ます)
- ・水タンクランプ消灯:ダクトレス機能使用中/点灯:ダクトレス機能未使用



※ポンプで水を汲み出し流れる音が出ます。使用しない場合はこまめに水タンクの水を捨ててください。








## ◆ダクトレス機能を取り消す

電源ボタン  を押す

- ・運転を停止して、水タンクの水を捨ててください。

# 使用方法(つづき)

## ◆除湿運転






- 1** 本体の電源ボタン  を押す
  - ・電源が入り、運転が始まります。
- 2** 運転モードボタン  を押して除湿モードを選ぶ
  - ・除湿ランプが点滅：除湿準備中／点灯：除湿中
- 3** 湿度ボタン   を押して湿度を選ぶ
  - ・-/+ボタンでCO(連続運転)-30~90%の中から選ぶ(5%ずつ増減、ディスプレイに設定湿度が表示されます)
  - ・本体付近の湿度が設定湿度になると除湿準備中になります。(コンプレッサーの動作が停止し、ディスプレイに湿度が表示されます)
- 4** 風量ボタン  を押して風量を選ぶ
  - ・ボタンを押すごとに強→自動→弱の順番で繰り返します。
- 5** スイングボタン  を押してスイングさせるか選ぶ
  - ・スイングランプ点灯：する／消灯：しない
- 6** 本体の電源ボタン  を押す
  - ・運転が停止します。



※除湿された水はドレンから水タンクへ溜まります。E4エラー(満水)になりましたらこまめに水タンクの水を捨ててください。

# 使用方法(つづき)

## ◆送風運転

- 1** 本体の電源ボタン  を押す  
・電源が入り、運転が始まります。
- 2** 運転モードボタン  を押して送風モードを選ぶ  
・送風ランプが点灯:動作中  
(ディスプレイには「—」と表示されます)
- 3** 風量ボタン  を押して風量を選ぶ  
・ボタンを押すごとに強→自動→弱の順番で繰り返します。
- 4** スイングボタン  を押してスイングさせるか選ぶ  
・スイングランプ点灯:する/消灯:しない
- 5** 本体の電源ボタン  を押す  
・運転が停止します。

# 使用方法(つづき)

## ◆フィルターチェック

空気清浄として使用したい時のモードです。オプションのHEPA相当フィルター(別売)が必要になります。運転モードは送風と同じになります。

1

フィルター付きカバーにHEPA相当フィルター(別売)をセットする

- ・各部名称「フィルターカバー」を外してHEPA相当フィルター(別売)をセットしてください

2

本体の電源ボタン  を押す

- ・電源が入り、運転が始まります。

3

運転モードボタン  を押してフィルターチェックモードを選ぶ

- ・フィルターチェックランプが点灯:動作中

続く→

# 使用方法(つづき)

## ◆フィルターチェック(つづき)

ディスプレイを確認する

- ・「CL」と表示された場合、まだ交換目安ではありません。
- ・「E8」と表示された場合

4 HEPA相当フィルター使用：オプションのHEPA相当フィルター(別売)の交換目安の運転2000時間を経過しています。(このモードでの運転時間) HEPA相当フィルター(別売)を交換してください。交換後、風量ボタンを3秒以上長押ししてください。一度電源を切ってから再度運転を開始してください。

HEPA相当フィルター未使用：オプションのHEPA相当フィルター(別売)をご使用になっていない方は、カバーのフィルターをご確認いただき、お手入れを行なってください。(P27「お手入れ方法」参照)

お手入れ後、風量ボタンを3秒以上長押ししてください。一度電源を切ってから再度運転を開始してください。

5

本体の電源ボタン  を押す

- ・運転が停止します。











※このモード以外を使用する場合はHEPA相当フィルター(別売)を外してください。



# 使用方法(つづき)

## ◆入りタイマー

設定した時間が経過すると自動的に運転を開始します。

- 1 本体の電源ボタン  を押す  
・電源が入り、運転が始まります。
- 2 運転モードボタン  と、温度湿度ボタン   を押して  
設定したいモード・温度/湿度を設定する
- 3 本体の電源ボタン  を押す  
・電源が切れて、運転が停止します。
- 4 タイマーボタン  を押す  
・ディスプレイが「00」で点滅します。
- 5 時間ボタン   を押して入り時間を設定する  
・ディスプレイが点滅している間に、-/+ボタンで時間を設定する  
(1時間ずつ増減、ディスプレイに入り時間が点滅します)  
・00~24時間(1時間単位)の設定ができます。  
・設定した時間で点灯したら、設定完了です。






## ◆入りタイマーを取り消す

本体の電源ボタン  を押して運転を再開し、  
再度電源ボタン  を押して運転を停止してください。  
またはタイマーの設定時間を「00」に設定し直してください。

# 使用方法(つづき)

## ◆切りタイマー

設定した時間が経過すると自動的に運転を停止します。

- 1 本体の電源ボタン  を押す  
・電源が入り、運転が始まります。
- 2 運転モードボタン  と、温度湿度ボタン  を押して  
設定したいモード・温度/湿度を設定し運転する
- 3 タイマーボタン  を押す  
・ディスプレイが「00」で点滅します。
- 4 時間ボタン  を押して切り時間を設定する  
・ディスプレイが点滅している間に、-/+ボタンで時間を設定する  
(1時間ずつ増減、ディスプレイに切り時間が点滅します)  
・00～24時間(1時間単位)の設定ができます。  
・設定した時間で点灯したら、設定完了です。

## ◆切りタイマーを取り消す

本体の電源ボタン  を押して運転を停止してください。  
またはタイマーの設定時間を「00」に設定し直してください。






# 使用方法(つづき)


## ◆おやすみモード

冷風運転の場合：1時間後に設定温度が1℃上がり、さらに1時間後に1℃上がり、その温度で連続運転します。

除湿/送風運転の場合：風量が弱になります。

1 本体の電源ボタン  を押す  
・電源が入り、運転が始まります。

2 運転モードボタン  と、温度湿度ボタン  を押して  
設定したいモード・温度/湿度を設定し運転する

3 おやすみボタン  を押す  
・おやすみランプが点灯：おやすみモード開始 消灯：取り消し

## ◆おやすみモードを取り消す

おやすみボタン  を再度押してください。

または、本体の電源ボタン  を押して運転を停止してください。

# お手入れ方法

## ⚠ 注意

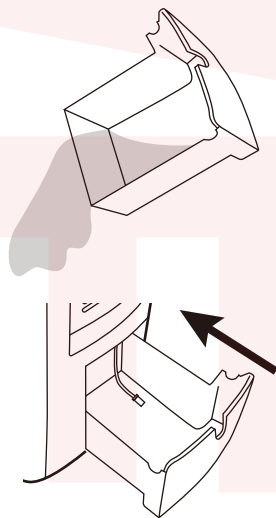
有機溶剤（ベンジン、シンナー、石油等）、薬品類（漂白剤、消毒液等）、研磨剤は使わないでください。（変形・変色・故障の原因。）

お手入れの際は必ず電源プラグを抜き、電源を切ってください。（感電・発火・故障の原因。）

本製品は防水仕様ではありません。本製品を水につけたり、丸洗いはしないでください。（故障の原因。）

### 水タンクのお手入れ

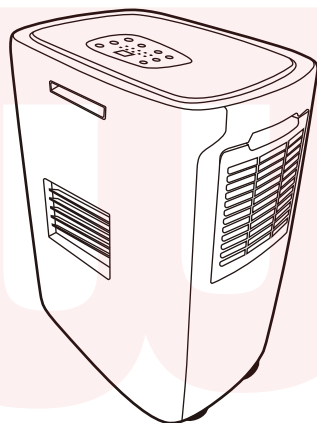
- ①水タンクを引き出して、タンク内の水を捨ててください。
- ②水タンクを水洗いしてください。
- ③水タンクはよく乾燥させて、本体にセットしてください。



### 本体のお手入れ

- ・乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ・汚れがひどい場合は、ぬるま湯か中性洗剤をつけた布でふき取り、そのあと柔らかい布で空拭きしてください。

※40度以上のお湯は使わないでください。  
高温のお湯を使うとプラスチックが変形する可能性があります。



# お手入れ方法(つづき)

## フィルター付きカバーのお手入れ

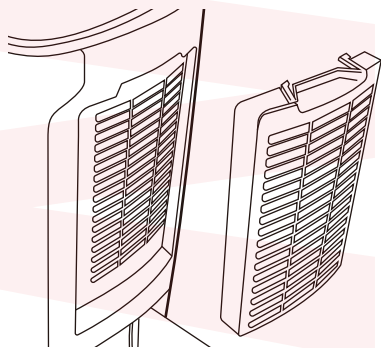
①本体左右両側に取り付けられているフィルター付きカバーを外します。

②フィルター付きカバーと、本体側フィルター取り付け部のほこりやゴミを掃除機で吸い取ってください。

※フィルターにほこりがつまると風量が減少し、能力が低下します。2週間に1度程度お手入れをしてください。

※汚れがひどい場合は、中性洗剤を溶かした水などで洗ってください。洗った後はよくすすぎ、陰干しで乾燥させてください。

③本体に再度取り付ける場合は、フィルター付きカバーの下部を本体側に差し込んでから、上部をはめてください。



## ⚠ 注意

※フィルター付きカバーを外した本体内部（アルミフィン部分など）は、お客様でお手入れすることができません。

※市販のエアコン洗浄スプレーは、ご使用しないでください。

エアコン内部の洗浄は高い専門知識が必要です。誤った方法で洗浄をすると、部品の破損による水漏れや電気部品の故障などを引き起こし、最悪の場合は発煙発火につながるおそれがあります。

# 保管方法

横倒しの状態で保管しないでください。故障の原因になります。

内部に水滴を残さないため、晴れた日に半日ほど送風運転をして乾燥させてください。

電源プラグをコンセントから抜き、電源プラグを掃除します。電源コードをまとめ、ほこりよけに布などを被せて収納してください。

本体をきれいに掃除して、ほこりが被らないように袋に入れるなどして保管してください。

フィルターは掃除をして、本体に取り付けた状態で保管してください。

直射日光の当たらない、涼しい、湿気の少ない場所で保管してください。

# 故障かなと思ったら

症状	原因	対策
冷風が出ない	フィルターが汚れている	お手入れ方法(P.27)を参照し、フィルターを掃除してください。
	吸気口・吹出口・排熱口が塞がっている	塞がない状態にしてください。
	部屋の中に熱源がある	熱源と併用しないでください。
	ダクトが潰れている	正常な状態にしてください。
	コンセントを単独で使用していない	コンセントは単独で使用してください。電圧低下により性能が落ちる場合があります。
	送風から冷風に切り替えた直後である	切り替え後すぐに送風から冷風にはなりません。5分程度お待ちください。
部屋が暑くなる	本体背面の排気口から排熱されるため、閉め切られた空間で冷風・除湿運転をすると周囲の温度が高くなります。付属の排気ダクトを使用する、ドアを開けるなどして熱を外に逃すことでお部屋の温度上昇を避けることができます。	
本体を倒してしまった	本体をすぐに元に戻し、電源プラグを抜いてください。水がこぼれている場合は、水をしっかりと拭き取り、よく乾かしてからご使用ください。	

# 故障かなと思ったら(つづき)

症状	原因	対策
ディスプレイに「E1」「E2」と表示される	故障となります。お客様側で対応できる部分がありません。保証期間内の場合は弊社サポートセンターまでご連絡ください。	
ディスプレイに「E4」と表示される	水タンクが満水	水タンクの水を捨ててください。
	水タンクがしっかり取り付けられていない	水タンクを一度外して取り付け直してください。
ディスプレイに「E8」と表示される	オプションのHEPA相当フィルター(別売)の交換目安の運転2000時間を経過しています。HEPA相当フィルター(別売)をご使用の場合は交換してください。 交換後、風量ボタンを3秒以上長押ししてください。一度電源を切ってから再度運転を開始してください。 オプションのHEPA相当フィルター(別売)をご使用になっていない方は、フィルター付きカバーをご確認いただき、お手入れを行なってください。 詳しくはP.21「フィルターチェック」欄をご確認ください。	

# 仕様

サイズ	幅400×奥行285×高さ508mm
重量	約13.5kg
電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	200 / 250W (※1)
起動電力	500 / 579W (※1)
動作温度範囲	17～35℃
冷風吹出口温度	周囲温度より約12℃低い (※1) 周囲温度より約10℃低い (※2)
排気口温度	周囲温度より約3℃低い (※1) 周囲温度より約10℃高い (※2)
除湿能力	除湿能力 13.18 / 15.34 L/日 (※3)
運転音	約55dB (※4)
冷媒	R290
冷媒封入量	45g
電源コード長	約1.8m
材質	外観：ABS 内部の主な材質：鉄、銅、アルミ
セット内容	本体、排気ダクト×1、ダクトアタッチメント×1、 ダクトエンドA×1、ダクトエンドB×1、ダクトパネル×1、リモコン×1、日本語取扱説明書
保証期間	購入日より12ヶ月

※1 環境条件：35℃/40% 風量：強 運転モード：冷風 ダクトレス機能使用時 送風口より10mm

※2 環境条件：35℃/40% 風量：強 運転モード：冷風 ダクトレス機能未使用時 送風口より10mm

※3 環境条件：30℃/80% 運転モード：除湿

※4 本体正面約60cmにて計測 風量：強 運転モード：冷風 ダクトレス機能未使用時

# 長期使用製品安全表示

## 本製品ご使用に際してのお願い

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】 本体ラベルに記載

【設計上の標準使用期間】 5年

## ◆ 設計上の標準使用期間について

標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。

無料修理を行う保証期間や、補修用性能部品の保有期間とは異なります。

運転モード		冷風 風量：強
環境条件	電源電圧	100V
	周波数	50/60Hz
	温度(室内)	27℃
	湿度(室内)	47%
想定時間	1年間の使用日数 (東京モデル)	112日間
	1日の使用時間	7.5時間/日

設置状況や環境・使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

# アフターサービス

## お問合せ・修理をご希望される場合

<https://www.thanko.jp/view/page/support>

にアクセスして、サポートページよりお問い合わせください。

QRコードを読み取ることでアクセスすることができます。



## 不具合品のご送付先

ご連絡なく修理品を送付された場合、そのまま返送となります。必ず上記のページからお手続き後、ご送付ください。

チバサン ナラシノシ アカネハマ  
〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-3-1  
EL 内 サンコーサポート宛

TEL 03-3526-4328

(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00 土日祝日を除く)

お問合せメールアドレス :support@thanko.jp (自動返信にて上記 URL をご案内します)

販売元 **THANKO**

〒101-0023 東京都千代田区神田松永町 19  
秋葉原ビルディング 8F サンコー株式会社  
TEL:03-3526-4328  
FAX:03-3526-4329

※不具合品のご送付先は別の住所となります。